

## 甲斐市議会議会改革特別委員会会議録

1. 開催日時 令和元年12月17日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

---

### 出席委員（8名）

委員長	五味武彦君	副委員長	伊藤毅君
	秋山照雄君		金丸幸司君
	松井豊君		有泉庸一郎君
	内藤久歳君		藤原正夫君

議長 清水正二君

### 欠席委員（1名）

金丸寛君

### 傍聴議員（なし）

---

### 職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	本田泰司	書記	奥石文明
書記	長田大地	書記	中込美智子

### 議題

- 1 令和元年度市民と議会の対話集会開催要領（案）について
- 2 その他

開会 午後 4時44分

○書記（輿石文明君） 本会議お疲れさまでした。

ただいまから議会改革特別委員会を始めさせていただきます。

初めに、委員長挨拶、五味委員長、お願いいたします。

○委員長（五味武彦君） お疲れさまでした。

また改めて委員会が始まります。よろしくお願い申し上げます。

時間が時間ですので、手早く終わりたいというふうに思っていますので、ご協力お願いいたします。

以上です。

○書記（輿石文明君） ありがとうございます。

続きまして、議長挨拶、清水議長、お願いいたします。

○議長（清水正二君） 本会議の後、委員会ということで、大変お疲れさまでございます。

市民と議会の対話集会ということで、日程的にタイトでございますが、ぜひご協力と慎重審議、お願いいたしまして、挨拶いたします。

よろしくお願いいたします。

○書記（輿石文明君） ありがとうございます。

それでは、議事の進行につきましては五味委員長、よろしくお願いいたします。

○委員長（五味武彦君） ただいまの出席委員は8名です。定足数に達しておりますので、これより議会改革特別委員会を開きたいと思えます。

なお、金丸寛委員は欠席の連絡がありましたので、ご報告をさせていただきます。

---

○委員長（五味武彦君） 本日の会議を開きます。

ここであらかじめ申し上げておきます。

本日の会議は時間を延長して行いますので、ご了承をお願いいたします。

それでは内容に入りたいと思えます。

内容の（1）令和元年度市民と議会の対話集会開催要領（案）についてを議題とさせてい

たきます。

前回の12月3日の会議で決定している内容は、本年度も対話集会を開催することと、それから開催日、開催場所、意見交換の方法は、甲府市のように少人数に分かれて市民の意見を聞く。ここまでなんですけれども、ここまででよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） それでは、開催すること、開催日、開催場所、意見交換の方法ということで、これは決定とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、前回、次の会議で、意見交換のテーマや詳細を決定するという事になっております。

先般、伊藤副委員長と打ち合わせを行いました。正副委員長の案としまして、資料の1ページのとおり、開催要領（案）をまとめましたので説明をさせていただきます。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） それでは、私のほうから説明をさせていただきます。

表題が、令和元年度市民と議会の対話集会開催要領（案）という形です。

趣旨につきましては、甲斐市まちづくり基本条例に基づき、開かれた議会運営を推進するため、市民と議会の対話集会を開催し、議会情報の発信及び市民からの意見などを把握し、議会活動に反映させるために実施するという形が趣旨になります。

主催は、甲斐市議会（議会改革特別委員会）という形になります。

3番目、開催日時、令和2年2月12日水曜日になります。午後7時から8時半、約1時間半を予定するという形です。

場所については、こちらの東側ですね、竜王北部公民館4階のホール。

開催内容になります。

第1部、20分という形で、議会報告をさせていただきたいと思っております。議会の説明、それから定例会の報告などという形になります。今までは、40分とか長い時間だったんですけども、20分弱ぐらいでまとめたいというふうには思っております。

これは伊藤副委員長から、甲府市の議会のほうから情報を得まして、甲府市のほうは50分ぐらいでしたっけ、議会の報告をしました。それから、意見交換のほうは30分ぐらいということなので、参加者が非常に、報告が長過ぎることなので、極力短くしたいという形なので、20分弱ぐらいという形で、この中には議長の挨拶なども含めたいというふう

に思っています。そんな形で、議会報告は約20分ということでお願いしたいということです。

それから、第2部。第2部になりますと60分ぐらいかけたいということで、意見交換、テーマが「10年後の甲斐市に望むこと」と。一応、私と副委員長で決めさせていただきました。「10年後の甲斐市に望むこと」という形の大きなテーマでいきたいというふうに思っています。これについては、後ほどご意見をいただきたいと思えます。

それから方法については、小グループに分かれて、車座で市民の意見を聞くという形になります。1グループ、市民が約10名、それから議員が3名という形になろうかと思えます。

それから6番目、参加対象者及び募集人数。甲斐市民ということで、これはどなたかにお話でいただきました小学生以上の同行も可能であるということで、大体60名程度かなというふうに思っております。

周知方法につきまして、7番目です。議会だより、それから議会ホームページ及び議員配布用チラシ、大体500枚ぐらいをつくって募集に努めるという形です。

それから8番目、議会報告になります。これは第1部という形になりますけれども、司会のほうは伊藤副委員長にお願いしたいと。それから、開会の挨拶は清水議長にお願いしたいと。それから、説明は私のほうでやらせていただきたいと思えます。

9番目、第2部、いよいよ本題のほうへ入るわけですが、意見交換の役割及び議員班分けという形になります。意見交換の司会者については、伊藤副委員長にお願いしたいと。

それから、意見交換につきましては各班という形で、班分けになっておりますが、暫定的に振り分けてありますが、この3人ずつに組み分けてあります。進行役、進行補助役、記録役というふうな形で、3者の方にそれぞれの役を負っていただきたいという形です。

それから意見発表、これについては、それぞれ提案のグループで出てきたものも、最終的に最後の段階で、どなたかに各グループの代表という形で、議員がそれぞれのどんな意見が出たのかということをお簡単に説明していただきたいと。そうしないと、市民の意見がどこで発表されるかわからないという部分がありますので、その場で大体のもので構いませんから発表していただくということが、一応、意見発表という形で捉えております。これが、記録係でやるのかどなたがやるのか、それはお任せをいたしますけれども、一応、ここには各班の記録役というふうな形になります。

それから、閉会の挨拶については金丸副議長という形をお願いしたいということです。

それから、班分けになります。これは各班で進行役、進行補助役、記録役というのを定め

ていただくんですが、簡単に議席順でいっております。上からずっと、1班から6班までという形で、敬称を略します、保坂、有泉、滝川。それから小浦、斉藤、横山。藤原、松井、清水（和）。それから内藤、小澤、秋山。山本、赤澤、谷口。長谷部、金丸（寛）、加藤という形の6班態勢。三六、十八名という形になります。

それから清水議長、それから金丸副議長、それから私はフリーという形で、それぞれのサポートに回るという形になります。

なお、普通、伊藤副委員長については、記録係の写真撮影に回っていただくという形になります。

それから10番目、その他。（1）参加者アンケート、これはいつもどおりやりたいというふうに思っています。

それから議員の集合時間、これは午後5時という形でご集合いただきたいという形になります。

10番まで説明をさせていただきました。それぞれ追っていきたいと思います。

趣旨、主催、1、2、3、4まではよろしいかと思いますが、5番目のテーマについて、皆さん方のご意見を伺いたいと思います。

内藤委員、どうぞ。

○委員（内藤久歳君） 10年という、この年数を限定すると、何か捉えにくいと思うんだよね。だから、「これからの」とか、そういう表現のほうが幅が広くていいんじゃないかな。答えるほうも、10年とぼんと出ちゃうと、10年後、うーんと考えるから、そこは幅を持たせなきゃ、「これからの甲斐市に望むこと」というような表現のほうがいいかなと思います。

○委員長（五味武彦君） それもあります。

○委員（内藤久歳君） 検討してください。

○委員長（五味武彦君） 今、「これからの甲斐市に望むこと」と。これは全然、私どもの案という形で出させていただきましたので、問題ないと思います。

そのほかはどうですか。テーマとして大きなテーマ。

松井委員、どうぞ。

○委員（松井 豊君） いいと思います。10年というと僕らもいるかいなかわからないよになっちゃうので。

○委員長（五味武彦君） ほか、ご意見なければ、今の内藤委員のとおり、「これからの」ということにさせていただきたいと思います。「これからの甲斐市に望むこと」でよろしい

ですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） それから、小グループに分かれて車座でと、これはこの間、形式のところでできましたけれども、一応、班分けがこの間7つという形でやったんですけれども、いろいろサポート役とかいろいろなやることがありますので、6班ぐらいに分かれてやったほうが、欠席者がいた場合とか、いろんな形のちょっと予備役が必要なので、6班態勢がよろしいかなというふうに思います。この班の分けの形、6班態勢というのはいかがでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） 9のほうへ入っちゃいましたけれども、よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） 6班態勢でいけば、今度は5に戻りますけれども、1グループ市民10名、議員3名という形になります。

それから6番目のほうへいきますが、参加者、大体60名程度を予定していますが、いやもっと多いほうがいいよというようなご意見があれば、いかがですか。

〔「それはやってみないとわからない」と呼ぶ者あり〕

〔「この位でいいんじゃないですか」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） そうですね。多ければ多いほど、それは対応できるという形になりますので、一応、予定人数は60名程度という形で進めさせていただきたいと思います。

それから周知方法になりますけれども、議会だより、それからホームページ等々でPRをするんですが、まず議会だよりについては早々に、1月25日発行のものにもう入れなきゃならんということなので、内容をある程度固めなきゃならんという時期には来ていますが、最終的には1月の早々までに決めたいというふうに思っております。それからホームページもしかり、それからチラシもその前ぐらいですかね、合わせて500枚、それぞれ議員に渡して、それぞれ募集してもらおうというふうな形になろうかと思えます。

それから8番目の議会報告については、こんな形で20分程度という形なんですけど、皆さん方はどうですか。ご意見あれば。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） よろしいでしょうか。

松井委員、どうぞ。

○委員（松井 豊君） 今まではスライドをやっていたけれども、その辺はどうなんですか。

○委員長（五味武彦君） パワーポイントを使います。私と副委員長で話したときに、もう一回パワーポイントをちょっと作り直して、肝心な部分だけをやればいいんじゃないかなというふうに思います。なので、ちょっと作りかえをしなきゃならんというのが、1月に入ってからやらなきゃいけないことかなと思いますが、議会報告はやるにはやるんだけど、ある程度コンパクトにまとめたいという形になろうかと思います。

議会報告については、司会が副委員長にやっていただいて、開会の挨拶、それから議長挨拶、説明は私がさせていただくという形になろうかと思います。

これまではよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） それでは、9番目に入りたいと思います。

第2部、これが意見交換と、いよいよこちらのほうのことになりますけれども、役割及び議員分けと、班分けという形になりますが、司会者は副委員長にやっていただく、意見交換が各班ということですが、班分けの方法はどうでしょうか。仮に今、議席順で振りまされたけれども。

〔「いいんじゃないですか」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） よろしいですか。

常任委員会がちょっと重なる、もしくはなくなるという可能性もありますけれども、それはいろいろな形でわかっている方はいらっしゃると思いますので、それぞれが補完していただければ問題ないと思いますので、もう機械的に、こういうふうにやりましたので、大丈夫かなと思います。

それから、例えば、金丸寛議員が来られるかどうかとかという部分がありますので、それはフリーの人が入るとかいう形をとりたいと思います。

じゃ、6班という形で、名前もそれぞれの1班から6班までの名前を入れさせていただきますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） それから、意見交換が終わって、今度は意見発表という形、これは前回出てきませんでしたが、いろんな形でやっぱり言いつ放しというもの、参加者の方がちょっとストレスがたまる部分があるかなと思いますので、例えば1班はどういうことがあった、どういう意見があったとかいう形を、ちょっと3分程度ですか、三六、十八、18分、

そのぐらいですかね、二、三分でちょっとどんな意見があったというのを紹介していただければ、隣の班はこういうことが出たんだとか、私どもの班はそうそう、こういうことを言ったんだとかいう確認がとれるという部分があります。

普通の場合は、研修になりますと、一般の市民の方が発表していただくんですが、ちょっと初めてのことから、議員がまとめたものを発表するというのが一番わかりやすいことかなというふうに思います。

その発表者が、一応、各班の記録役という形にしてあります。記録役がいいのかどうか。進行役、グループのリーダーさんはそれぞれ決めなきゃいけません。それから、それを補助する方というのが進行補助役、それから記録役ということになりますので、それぞれ進行役、補助役、記録役で発表者を決めていただきたいと思います。

なので、この1班から6班まで、この中でそれぞれ3人でうまいこと振り分けていただければよろしいかなというふうに思いますが、よろしいですか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） これ、役が3つだから、資料のとおり名前の順で、各班の進行役、補助役といったら、この並んでいる順に指名したらどうですか。

〔「いいんじゃないの、その各班でやれば」と呼ぶ者あり〕

○委員（内藤久歳君） また、だって、みんな集まってやらなきゃならないの、面倒では。

○委員長（五味武彦君） 例えば、加藤、谷口、秋山、この1期生の部分が、例えば普通でいくと、記録役になっちゃうんですよ。その辺のちょっと心配があるんですが、どうなんですか。

〔「いや、そこ、これで決めればいいじゃないですか、3人で決めれば。

そんな難しい話じゃない」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） どうですか。決めたほうがいいのか、いや、決めなくていいんじゃないかと、両方意見がありましたけれども。

○委員（内藤久歳君） このまま割り振っちゃったほうが。どうせこれをお願いしますと言ったほうがすっきりするところ、また改めてこれを、こうだけれどもどうするだということよりかも……

○委員長（五味武彦君） じゃ、中間の案を出しますと、初めに割り当てておいて、中で問題があれば話し合いをしてくれと。どうですか。

○委員（内藤久歳君） そうしてください。

○委員長（五味武彦君） よろしいですか。

○委員（内藤久歳君） はい。

○委員長（五味武彦君） それでは、進行役が、保坂、小浦、藤原、内藤、山本、長谷部と。それから補助役が、有泉、斉藤、松井、小澤、赤澤、金丸と。記録役が、滝川、横山、清水（和）、秋山、谷口、加藤各議員という形で、仮に割り振っておきます。それぞれの中で、役割分担に変更があれば決めていただくという形です。

あとは、なにかありますか。

〔「いいですか」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） 松井委員、どうぞ。

○委員（松井 豊君） 参加者の班分けはどうするんですか。

○委員長（五味武彦君） 前回決まったように、それぞれ1人ずつ、1、2、3、4班の席へ、それぞれ連れていくという形にさせていただきたいと思います。そうすれば、2人で来た人も別々になるとか、3人のグループで来た人も分かれるとかいう形になります。

受付に議員がいますので、各テーブルへそれぞれ連れていってください。よろしいでしょうか。

〔「委員長」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） 金丸委員、どうぞ。

○委員（金丸幸司君） 中には3人で友達と来ていて、この人とじゃなければ嫌だという人がいた場合は。

○委員長（五味武彦君） それはそれでもう1人ずつ入っていただくと。あくまでも。

○委員（金丸幸司君） それに従っていただければいいんですけれども。

○委員長（五味武彦君） それは、臨機応変で、基本的には1人ずつ議員が連れていくという形で、万が一やむを得ない方はしょうがないという形で。よろしいですか。

ほか、全体を通して。

内藤委員、どうぞ。

○委員（内藤久歳君） 今までにない各グループの発表があるわけじゃないですか。それを3分ずつすると6班で約20分かかるんですよね。トータル時間が1時間半ということは、かなりそれがもう、この最初のセレモニーとこれでもって90分でしょう。

そしてなおかつもう1点は、アンケートをもらうことになるじゃないですか。そうすると、結局一応、全部の意見交換が終わって発表が終わった後、アンケートを書く時間を5分か

10分とらないと、みんな帰っちゃいますよ。

○委員長（五味武彦君） そうだね。

○委員（内藤久歳君） だから、その時間をそこでとどめておいて、設けて、ちょっとアンケートをお願いしますということで時間をかけて、帰ってしまう人もいないけれども、アンケートの回収率は上がるような気がするんですよ。

そうすると、そういう時間も設定してトータル時間を組まないと、やっぱり。そうすると、全体で2時間ぐらい見ないとえらいんじゃないかなと思うんですよ。そういうことを考えると。だから、その辺もちょっと検討をして時間の設定を。それから、今、終了時間が、8時半だけでも、9時までにするとか、その辺のところをちょっと、検討をしていただきたい。

○委員長（五味武彦君） わかりました。

確かにおっしゃるとおり、1時間半きちきちだと思います。早目に、60分の意見交換が早く終わるグループもあるかもしれない。でも、長引くところもあるという部分で、やっぱり意見交換は60分とりたいということであれば、全体を1時間半ではなくて、午後7時から9時まで、2時間という形で設定させていただく。流れの中で、終わったなということで大方のところがあれば、少しずつ早めていくというふうな方法でいかがですか。

よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） あとはいかがでしょうか。

金丸委員。

○委員（金丸幸司君） やっぱり、市民の方たちが、自分たちがふだん思っていることを、来て、いろいろご意見というか要望みたいな感じもあると思うんですけれども、それについて今後どういうふうに、市民の方々に報告というんですかね、そういうことも後々にまとめてやっているかと思うんですけれども、その辺、ちょっと。

○委員長（五味武彦君） 一応、先ほど最後の意見発表のところ、あらかじめのものは出たと思います。個人名は出ませんが。ただ、何かのときに発表しなければならんということで、これは議会だよりの4月発行分に、一番裏に一応特集として出そうかなというふうには思います。ただ、多くは出ません。こういうことをやりました、何人の参加です、大体おおまかな意見が出ましたということは、一応、特集記事として出したいとは思っています。

あと、細かいことになると、今度は中に入っちゃうと、これは議会広報常任委員会の話になるんですが、リニューアルになりますと16ページ立てになりますので、今までのものを

カットしたりとか、新しく追加したりとかいう作業になるんですけども、ちょっとここまでは、今の最終ページでいこうかなというふうには思っています。それが新しいリニューアルの最後のページは、広告は入りますけれども、議会の活動内容を一番最後のページに入れましょうよというふうな形に一応なっていますので、その場が一応発表の紙面というかスペースになるかなということで。もし、いや、これじゃ少ないよという方がいらっしゃればなんですけれども。

どのくらいになるのかな。このくらいか。こんなもんだよね。

〔「構成してみないと」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） 構成してみないとわからないけれどもね。

まあ、いろんな貴重なご意見をいただきましたというふうな形で、報告をそういう面で行いたいとは思っております。

よろしければ、ほかの方いらっしゃいますか。

伊藤副委員長、どうぞ。

○委員（伊藤 毅君） 参考までに、甲府市のほうの進め方なんですけれども、第2部ですね、一応、例えば今やろうとしているのは、市民の方10名なんですけれども、やっぱり来ていただいた市民の方全員に平等に話ができるような形をとったらしくて、そのやり方としたら、甲府市の未来に望むことというのを一人一人紙に、時間をとって書いてもらったらしいです。それを、文章ではなくて、キャッチフレーズとか言葉、例えばスポーツだとか安心とか、そういうのを一人一人に書いてもらって、全員に30秒ずつそれを発表してもらって、それでこのグループには、あとこのテーマがいいよねというので、次の段階で、それを実現するために皆さん何かご意見ありますかというような流れで進めたいんです。

それを参考にしながら、またちょっと今後、委員長と煮詰めていけたらと思いますけれども、よろしく願いいたします。

○委員長（五味武彦君） 今の意見は、皆さんそれぞれテーマを出し合って、そのグループで一つにテーマを絞って、それに対していろんな話をさせていただくという、今、甲府市の考え方、やり方があったと。

そういう紹介がありましたけれども、それにあえてこだわることもないかもしれないんですけども、一応、案としてはそれか、逆に何でもいいよと、1人2分でも3分でもしゃべってくれと。その場合、あと、緑化センターの話がどういうふうに対応するか。

金丸委員、どうぞ。

○委員（金丸幸司君） さっき伊藤委員が言ったように、まとめれば広報にも載せやすいと思うんです、報告する場合は。だから、余り広げ過ぎちゃうとやっぱり、さっき言ったように、余り載せられないのかなと思う。

しかし、市民側はやっぱり皆さん、いろいろ抱えていて、来ていると思うので、それを聞いてあげるといいうのも大事なことだと思うんですけども、ある程度やっぱりテーマを絞るといいうのも、どうなんですかね、その辺は。

○委員長（五味武彦君） 参加者も、我々議員も初めてのことなので、どううまくいけるかが心配なんですけれども、甲府市の議会の場合は、副委員長が言ったように、それぞれのイメージというんですか、テーマを出してもらって、そこでみんなでまとめると。そうすると、それまでまとめる時間も必要になってくるよね。

どうぞ、藤原委員。

○委員（藤原正夫君） このテーマが「これからの甲斐市に望むこと」ということですから、これからとうたっていれば、かなり幅広くいろんなことがあると思うんで、確かに伊藤委員が言うように、甲府市がそうやったということで、時間が、10人いて、それまでこうやってテーマが、第1班がどのテーマと決めて、すっと決まればあれなんでしょうけれども、1回目はこれでいいような気がしますけれども、私個人的に。

そうは言いましても、伊藤副委員長、甲府市も第1回目だったんだよね。そうすると、大體流れを見てどうですか、スムーズにいったのか。

○委員長（五味武彦君） 副委員長からちょっと説明してください。

○委員（伊藤 毅君） 甲府市のほうのアンケート結果によると、やっぱりどうしてもこの意見交換のそれは、なかなかいい形ではいったらしんですけれども、余りにも30分と時間が短くて、もっとその時間が欲しかったというアンケート結果だったみたいです。

みんな積極的にこういうふうには紙に書いて、いろいろな意見が出て、結構盛り上がったところで終わっちゃったというので、やっぱり前半の議会報告は短く、後半はもっと時間が欲しかったというような、そんな形です。

〔「今、休憩でいいですか」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） ここで暫時休憩します。

休憩 午後 5時15分

再開 午後 5時20分

○委員長（五味武彦君） 会議を再開いたします。一応、テーマはそれぞれ決めなくて、フリーのテーマにすると、この場はそういうふうにさせていただきたいと思います。

また、議会運営委員会とかいろんな形で話が出るかもしれませんが、議会改革特別委員会とすれば、一応、基本的なものはそろえていかなきゃいけないという形になりますので、よろしく願いいたします。

あと、よろしいですか。

〔発言する者なし〕

○委員長（五味武彦君） それでは、今までの内容で決定してよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） それではそのように決定をさせていただきます。

内容が決定しましたので、この内容であさって19日の議会運営委員会と、それから全員協議会で、この内容の報告をさせていただきます。

なお、細かいこの後の詳細については、本特別委員会で協議して決定をしていきたいというふうに思っています。

さらに、次の開催、年内にもう一回やりたいということになりますので、来週25日水曜日になります。1時半からという形になります。内容については、開催チラシの内容、それから議会だよりの掲載記事などの協議を行いたいと思います。来週25日の午後1時半集合、開会という形になります。

よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） それでは、そのように進めさせていただきます。

以上で、令和元年度市民と議会の対話集会開催要領（案）についてを終わります。

続いて、（2）その他を行いたいと思います。

委員より、何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） 議長から何かございますか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） よろしいですか。

事務局ありますか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○委員長（五味武彦君） なければ、その他を終了させていただきます。

以上をもちまして、本日の日程、全て終了とさせていただきます。

これをもちまして、議会改革特別委員会を閉会といたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午後 5時23分